

津久見市立津久見小学校 の導入状況

「令和3年度小学校教科担任制推進に係る取組状況」を基に作成

①高学年の教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要

※推 進・・・小学校教科担任制推進教員

年 組	担 任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる 教員数
5年1組	A先生	B	C	A 専科	推 進	B	C	推 進	A	専 科	5
5年2組	B先生			C 推進							5
6年	C先生			C 推進							5

※太線囲みは学級担任間の交換授業

- 各教員の得意な教科を授業に活かせるように配慮した。
- 5・6年生をまたいだ交換授業により、子どもたちを複数の教職員で見守り、支援できる体制とした。
- 分掌等、業務に偏りが生じないように授業時数を調整した。
- 外国語教育の充実を図るため、専科教員に加えて推進教員や担任が入るようにした。

②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	3	7※5年外国語T2
B先生	3	6※5年外国語T2
C先生	3	5
推 進	5	6※6年外国語T2

※担当教科数は、総合的な学習の時間、学活、道徳を除く。



③日課表作成のポイント

- 5・6年生の算数については、習熟度指導ができるように調整した。
- 可能な限り、国語・算数は午前中になるよう計画した。

④円滑な導入へのポイント

- 授業の前後の挨拶、学習のルールや用具等を統一し、どのクラスでも同じように授業が進められるようにした。
- 「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」などノートの書き方、使う色を統一し、板書の仕方を共通理解した。
- 教科の係をクラスごとに決めて、教科の係が持ち物や課題の確認に来るようにした。

